

アメリカ経済論特講Ⅰ

選択 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

貨幣、金融、金融政策、金融危機、経済政策などの諸問題をアメリカを題材にして学びます。

2. 授業の到達目標

- (1) 金融政策、金融危機、財政赤字など、アメリカ経済が抱える諸問題に関する基本事項を修得する。
- (2) 米中貿易戦争など、アメリカと世界経済が抱える諸問題に関する基本事項を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

平常点:40%(出席状況と授業に取り組む熱意)
定期試験(あるいはレポート)の成績:60%

4. 教科書・参考文献

参考文献

柴田徳太郎編著 『世界経済危機とその後の世界』 日本経済評論社
春田素夫・鈴木直次著 『アメリカの経済 第2版』 岩波書店
柴田徳太郎著 『資本主義の暴走をいかに抑えるか』 ちくま新書
R.J.ゴードン著 『アメリカ経済 成長の終焉 上・下』 日経BP社

5. 準備学修の内容

良く予習して講義に臨むことを推奨します。

6. その他履修上の注意事項

講義は質疑応答を含めながら進めるので、積極的に質問することを推奨します。

7. 授業内容

- 【第1回】 序論:貨幣とは何か、について学ぶ
- 【第2回】 アメリカのマネーサプライについて学ぶ
- 【第3回】 アメリカの金融制度について学ぶ
- 【第4回】 アメリカの金融政策について学ぶ
- 【第5回】 株主資本主義の台頭について学ぶ
- 【第6回】 ダウンサイジングと雇用不安について学ぶ
- 【第7回】 格差の拡大について学ぶ
- 【第8回】 2000年代の規制緩和と金融緩和について学ぶ
- 【第9回】 金融の証券化とサブプライムローンの拡大について学ぶ
- 【第10回】 金融危機の発生について学ぶ
- 【第11回】 ドル流動性危機の発生について学ぶ
- 【第12回】 微弱な景気回復の要因について学ぶ
- 【第13回】 異次元緩和と世界経済への影響について学ぶ
- 【第14回】 利上げと世界経済への影響について学ぶ
- 【第15回】 講義全体を総括する